

北見市観光推進プロジェクト策定に向けて

1 基本的な考え方

(1) 実施期間

- ・これまでの3年サイクルと同様に、平成28年度～30年度の3年間とし、総合計画及び産業振興ビジョン（平成26～30年度）と終了年度を合わせる。

(2) プロジェクトの名称

- ・合併10年の節目を迎え、「新・北見市」というイメージは一定程度落ち着いたことから、これまでの「新北見型観光推進プロジェクト」から「北見市観光推進プロジェクト」に変更する。

(3) 実施体制

- ・市と観光協会だけではなく、観光・宿泊事業者などの主体的関わりと役割分担をした体制構築をめざす。
- ・単発（期間限定）のイベント・行事による集客とは別に、4つの地域が持つ資源と各観光協会がそれぞれめざす施策から共通項の複合と各地オリジナル戦略を切り分けた総合策をめざす。
- ・「受入態勢づくり」（資源のブランディング・マーケティング・商品化）と「プロモーション」（販売・宣伝）の両輪をめざす。

2 現状把握

(1) 観光入込客数の推移（過去10年）

(2) 道内及び管内における北見市の立ち位置

(3) 交通アクセスの現状（既存交通の把握）

(4) 各地域（自治区）の特性

(5) 各地域のイベントの実績（過去10年）

3 策定内容

(1) 主な施策

- ・イベントによる単発集客と持続的着地型観光誘客策の切り分け
- ・重点施策（素材＋ツーリズム）
- ・重点施策の具体的事業のイメージ
- ・重点施策実施の手法（情報発信、受入態勢づくり、商品づくり、広域連携など）
- ・重点施策の実施推進体制
- ・結果の指標となる統計の確実な把握の確立

(2) 従来の施策の整理（継続する事業）

- ・きたみ観光大使、ふるさと会との連携、フィルムコミッション誘致・支援
観光ボランティアの育成、広域連携の推進、コンベンション誘致活動
観光コーディネーターの設置、交流人口拡大会議 など

(3) 既に着手しており、今後施策として確立が必要なもの

- ・二次交通対策
- ・インバウンド対策

(4) 第3次の課題整理

- ・「シティ・プロモーション」の位置づけ（合宿・移住誘致等の扱い。効果を示す方法の開示）
- ・「交流人口拡大」に対する解釈と方針（庁内会議の継続等含めて）